



2学期がスタートします!!ご理解・ご協力をお願いいたします…

今年の夏休みは、なかなか梅雨が明けず、雨続きで気温が高い日が続き、8月2日に梅雨明けが発表されると、今度は連日「熱中症警戒アラート」が発令されるなど、異常とも言えるほどの暑い夏でした。あまりの暑さに熱中症になる児童もいるのではないかと心配しておりましたが、特にそのような連絡もなく、また、大きな事故や怪我、病気等の連絡もありませんでしたので、充実した夏休みを過ごすことができたことと思います。

いよいよ今日から2学期がスタートしました。2学期は、1年のうちで一番長い学期であり、大きな行事等もたくさんあります。その分、児童の活躍する場面が多くあり、一人一人の大きな成長が期待できる学期であるとも言えます。

2学期も、子ども達のがんばりに値する楽しい学校となるよう、教職員一同努力してまいります。1学期に引き続き、学校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



2学期の始業式で子どもたちに伝えた「二つのがんばり」

2学期の始業式では、全校の一人一人が意識して頑張してほしいこととして、次の二つのことについて話をしました。

1 「学校での生活の仕方を見直す」

- 集団で生活する中には、守るべきルールがあること
- 基本的な生活習慣5項目について
 - ①「言葉遣い」 ④「身だしなみ」を整える
 - ②「廊下歩行」 ⑤「整理整頓」をする
 - ③「時間を守る」

2 「めあてをしっかりと立て、粘り強く頑張りぬく」

- 自分のめあてをしっかりと立てる
 - ・どんな自分になりたいか
(目指す自分をイメージする)
 - ・どのように頑張るか
(具体的な方法をきめる)
- めあての達成に向け全力で取り組む

「生活の仕方」は、小学校という環境の中で、まわりに対するおもいやりや自分及び相手の安全を守るための行動様式なんだね。みんなですることが大切です。

2学期も大きな行事やたくさんの活動があります。その中で、一人一人が力を伸ばしてほしいものです。そのためには、自分のめあてをしっかりと持ち、最後まであきらめずに取り組むことが大切です。

全校の一人一人が、ほんの少し意識して生活するだけで学校は大きく変わります。一人一人が「元気に」「明るく」「笑顔で」「光り輝く」学校をめざして頑張りましょう。

始業式「2学期の決意」

～ 児童会執行部 手嶋 登己臣 さん ～

2学期の決意

児童会執行部 手嶋 登己臣

みなさんは、一人一人が自分なりの個性をもって
いることを知っていますか。そして、「自分なりの個性
を生かして、一人一人の笑顔が輝く滝小にしたい」とい
う願いを込め、児童会執行部では、「輝け！一人一人の笑
顔」というスローガンを設定しました。

ぼくは、みなさんが2学期もたくさんの笑顔を輝かせ、
その笑顔が全校へと広がってほしいと思います。

そのために、ぼくは2学期に特に頑張りたいことが二
つあります。

一つ目は、あいさつでたくさん笑顔を増やすことで
す。あいさつは、一番簡単なコミュニケーションです。

「おはようございます」や「ありがとうございます」な
どのあいさつは、人と人との関りの第一歩だと思います。
そして、明るいあいさつをされたほうは、うれしい気持
ちになると思います。そんなあいさつで、笑顔があふれ
ることを目標に、ぼくはあいさつをがんばっていきたく
と思います。

二つ目は、対話です。学習時の対話活動や運動会・学
習発表会等での仲間との対話活動を通して、友だちと協
力することで関りを深めることができると思います。そ
れによって、これまで見えていなかった友だちのよい所
を見つけてあげることができ、仲もより深めることができ
ると思います。

ぼくは、児童会スローガン「輝け！一人一人の笑顔」
のもと、たくさん笑顔を輝かせ、成長が感じられる二
学期にしていきます。

パリオリンピックに学ぶ！努力することの尊さを…

7月26日(金)にパリオリンピックの開会式が行われ、8月11日(日)までの17日間で32競技329の種目において熱戦が繰り広げられました。

子ども達が夏休みということもあり、何かとオリンピックのことが話題に上がったご家庭も多かったのではないのでしょうか。

連日、メディアでは「〇〇選手が金メダルを獲得！」「〇〇種目は決勝進出！銀メダル以上メダル確定～」「現在、金メダルが〇個、銀メダルが〇個～」という話題やいろいろな

種目での「疑惑の判定」をいうことが取り上げられていたように思います。また、期待通りの結果を取られなかったチームや選手への誹謗・中傷等もかなり問題になりました。

2021年に行われた東京オリンピックから3年、今回のパリオリンピックに出場した選手は、代表になるための努力や良い結果を残すための努力を積み重ねてきたことと思います。その過程には、なかなか結果が伴わなかったり、ケガをしたりと想像を絶するほどの悩みや苦しみがあったのだと思います。そして、日本代表という座を見事につかみ取り、本番に臨んだ選手たちが一生懸命に競技に向き合う姿には感動を感じずにはいられません。一生懸命な選手の姿はいつでも輝いています。逆に、残念な結果であるときこそ、選手を応援で後押しをしたいものですね。世界中がそんな世の中になってほしいのもです。

このことは、オリンピックに限らず日常生活でも同じことが言えます。目標に向かって努力を重ねる過程を大切に、仮にその目標が達成できなかったとしても、その過程での努力の姿勢や伸びをしっかりと認め、次へ向けて応援を送りたいものです。ぜひ、ご家庭でもこのことを話題にいただければと思います。



【トロカデロ広場に設置されたオリンピックリング】